



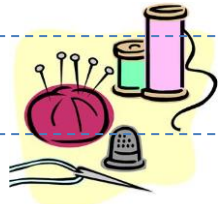
写真集

7月15日(土)

平和大使 事前学習会

平和大使としての心構えの説明を受け、真剣に聞きました。

ハンドブックを用いて、広島で一体何が起きたのか、原爆の恐ろしさなどについて学びました。



平和大使として学んだことは作文集として後世に伝えていきます。

「どのように作文を書いたらいいか」についても学びました。



7月25日(火)

平和大使 結団式

市長からは任命証を、教育長からは
市民から託された千羽鶴を受け取り
ました。

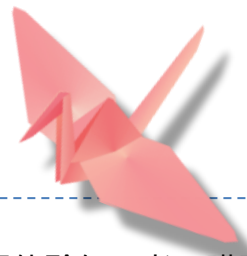


「戦争と平和について、しっかり見て
聞いて感じて平和を守るために何を
しなくてはいけないのか考える機会
としてください。」という市長の言葉。
皆さん真剣な表情ですね。





8月5日(土)



広島に到着。被爆体験伝承者の講話
のあとは、平和記念公園に行き、千
羽鶴を献納しました。





平和記念資料館や原爆ドームの見学をしました。夕食は広島名物のお好み焼き。

夜はホテルでミーティングです。今日見たことや聞いたことについて班ごとに意見や感想を話し合いました。

8月6日（日）

平和記念式典に参加しました。他の
たくさんの人たちと、平和への願い
を1つにしました。



流山市の平和に関する取り組み

平和都市宣言

私たちは、平和と繁栄を市民憲章にうたい、「豊かで活力ある文化都市」流山の実現をめざしている。

私たちの国は、世界でただひとつの被爆国として、広島・長崎のいたましさと被爆者の苦しみをすべての人びとに訴え、人類共通の願いである恒久平和を達成させなければならない。

私たちは、日本国憲法の平和精神にのっとり、武力による紛争をなくし非核三原則をまもり、すべての核兵器をすてることを訴え、世界平和確立のため、ここに平和都市を宣言する。

昭和62年1月1日 流山市

平和の像



流山市は、昭和62年1月1日、市制施行20周年を迎え、これを契機に平和都市を宣言しました。

そのおり、朝倉家御遺族の御理解のもとに東京都台東区から朝倉文夫作「姉妹」像の寄贈を受け、これを、「平和の像」として市役所庁舎前のプラザの一画に建立しました。

本作品は、朝倉翁が昭和22年、戦いが終わり平和の喜びを心に秘めて制作したものと言われており、本市が願う世界恒久平和のシンボルとして、永く後世に伝えるものです。

平和施策事業

流山市では、以下の平和施策に関する事業を毎年展開しています。

- ・ 平和大使事業
- ・ 平和ポスター展
- ・ 千羽鶴の送呈
- ・ ユニセフ平和教室



流 山 市

令和5年度流山市平和施策事業
作文集「平和大使として学んだこと」

発 行：令和5年8月
発 行 者：流山市
編 集：流山市総合政策部企画政策課